

学生のページ

受賞の喜び

益谷秀次賞

うえだ ようこ
医学部卒業生 上田 陽子

名誉ある賞をいただき大変嬉しく光栄に思っております。お世話になった教職員の方々、患者様、先輩方、同期生、後輩、そして家族など、多くの方々の支えがあったからこそ深く感謝いたします。

私は4月からふさと鳥根県の病院で研修いたしますが、出身地の石見地区はとくに危機的な医師不足です。本学在学中、鳥根県庁から医療事情に関する情報を継続的に受け、帰省時には開業医である父から地域医療の実態を見聞しておりました。4月からの研修では、医師不足によって荒廃した地域医療の厳しさを目の当たりにすることと思います。「良医を育てる」を建学の精神とする本学で学んだことを基礎に、新しい現場でさらに学び、地域医療に少しでも貢献できるよう努力していきたいと思っております。

これまで支えてくださったすべての方々に心より感謝するとともに、母校のますますの発展をお祈りいたします。



看護学部益谷秀次賞

かみかわ
看護学部卒業生 上川 みずき

名誉ある賞をいただき、驚くとともに大変嬉しく思っております。このような賞を受賞できたのも、ご指導いただいた先生方をはじめ関係者の皆様、先輩や後輩、支えてくれた家族、そして4年間一緒に頑張ってきた同級生の支えがあったからこそと考えております。

大学生生活を振り返ってみると、入学当初は慣れない地で医学用語や看護学への理解を深めることだけで精いっぱいでした。その後、臨地実習では患者様を多面的かつ個別的に看ることが難しく、悩み、涙を流した日もありましたが、患者様からの優しい言葉に幾度となく励まされ、患者様はじめ多くの人から看護の心構えや考え方を学びました。学生生活では同級生をはじめ部活の仲間に支えられ、チーム医療で必須の協調性を養うことができました。この4年間に学んだこれら多くのことを今後の糧とし、看護師として精進していきたいと思っております。



北辰同窓会会長賞

こばやし ひろみ
医学部卒業生 小林 裕美

非常に名誉ある賞を受賞し大変嬉しく思います。熱心に指導して下さった先生方、尊敬できる先輩や後輩、支えてくれた家族、共に励まし合い学んだ同級生の支えがあってこそこの受賞と思っております。お世話になった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

この6年間は辛いこともしばしばありましたが、友人と教え合い辛さを共感しあって乗り切りました。学年全体の雰囲気良く、恵まれた環境で勉強できたと感じています。またアルバイトでは、様々の境遇や考え方の人がいることを学び、自分自身の恵まれた環境を痛感しました。この経験は自分のことを考え直すきっかけともなり、これから多数の患者さんと接する上で貴重だと感じています。

人間的にまだまだ未熟ですが、この名誉ある賞に相応しい医師になれるよう精一杯努力し、多くの患者さんやご家族に信頼される良医を目指してたゆまず前進していきたいと考えています。

